

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

# 二輪車の交通事故発生状況 令和6年8月末

## 1 二輪車事故の発生状況

令和6年8月末現在の二輪車が関係した人身交通事故は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数ともに減少しています。

また、死亡事故は7件7人発生し、前年比で+3件+3人と増加しています。

【二輪車事故の発生状況】

(令和6年8月末速報値)

区 分	発生件数	死 亡 事 故		負 傷 者 数		
		件 数	死者数	重 傷	軽 傷	計
本 年	153	7	7	46	104	150
前 年	155	4	4	39	119	158
増 減 数	-2	3	3	7	-15	-8
増 減 率	-1.3	75.0	75.0	17.9	-12.6	-5.1

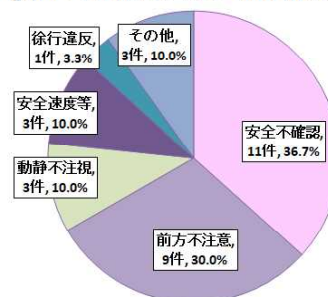
※本表の死傷者数には二輪車乗車中以外の死傷者を含む。

## ○ 二輪車が第1当事者となった事故 (令和6年8月末速報値)

令和6年8月末現在、二輪車事故は153件で、うち、二輪車が第1当事者となった事故は30件(19.6%)で、14件(46.7%)が原付(第一種)でした。

第1当事者の違反別では、安全不確認(11件、36.7%)が最も多く、次いで前方不注意(9件、30.0%)となります。

【第1当事者となった二輪車の違反】



【二輪車の交通死亡事故発生状況】

(令和6年8月末速報値)

No.	発生年月日等							事故類型			死者		
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	形状	類型A	状態	年代
1	6	1	17	22	水	夜	晴	仙台市宮城野区扇町	市道	四差路	四輪対二輪	自二	20歳代
2	6	4	12	15	金	昼	晴	利府町神谷沢	町道	三叉路	二輪単独	自二	50歳代
3	6	5	22	5	水	昼	晴	仙台市青葉区郷六	高速道	カーブ	二輪単独	自二	60歳代
4	6	6	27	10	木	昼	晴	蔵王町大字平沢	町道	カーブ	四輪対二輪	自二	60歳代
5	6	7	11	15	木	昼	晴	大崎市岩出山	国道	直線	二輪単独	自二	60歳代
6	6	7	14	7	日	昼	晴	大崎市鹿島台	国道	直線	二輪単独	自二	40歳代
7	6	7	15	11	月	昼	晴	仙台市若林区今泉	市道	直線	二輪単独	自二	40歳代

## 2 二輪車事故の発生推移 (基礎データ平成26年～令和5年)

二輪車事故の発生件数は減少傾向が続いており、令和5年中は、記録の残る昭和41年以降で最少となり、ピーク時(昭和45年2,711件)の1割以下まで減少しました。

死者数は平成26年以降、11人以下で増減を繰り返しています。

【二輪車事故の発生推移】



区 分	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
発生件数	608	610	516	518	465	349	263	281	270	249
死者数	6	10	11	6	7	9	5	8	8	6

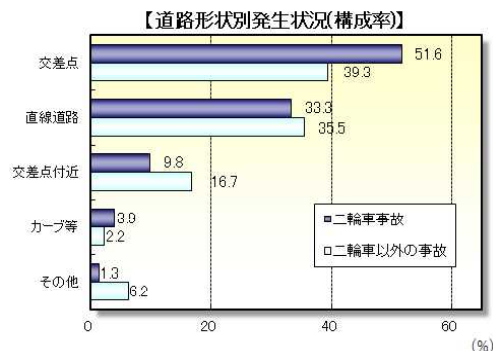
※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

### 3 二輪車事故の発生特徴等 (令和6年8月末速報値)

#### (1) 交差点での発生が多い

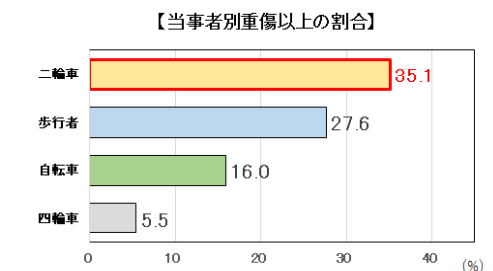
二輪車事故の5割以上(153件中79件、51.6%)が交差点で発生し、構成率が二輪車以外の事故(2,241件中881件、39.3%)を12.3ポイント上回っています。

また、カーブ等の構成率も、二輪車以外の事故を上回っています。



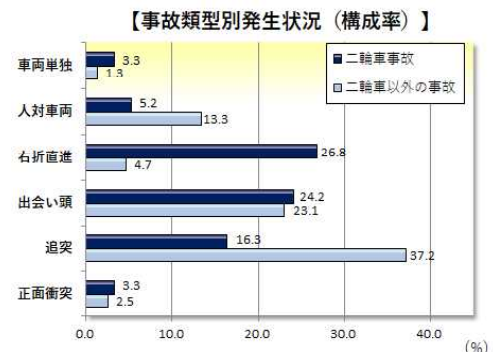
#### (2) 重傷以上の割合が高い

二輪車乗車中の死傷者が重傷以上となる割合は約4割(134人中47人、35.1%)で、四輪車乗車中(2,090人中114人、5.5%)の約6倍となっており、自転車等乗車中(376人中60人、16.0%)、歩行中(322人中89人、27.6%)と比較しても高い割合となっています。



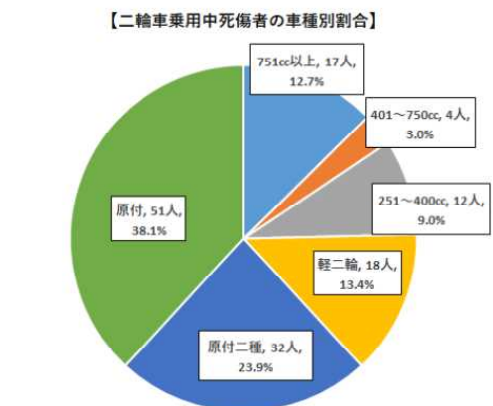
#### (3) 右折直進事故が多い

事故類型別では、ほとんどが車両相互事故(153件中140件、91.5%)であり、中でも右折直進事故(41件、26.8%)が最多で、二輪車以外の事故(2,241件中105件、4.7%)を22.1ポイント上回っています。



#### (4) 原付乗車中の死傷者が多い

二輪車乗車中死傷者の車種別では、原付(第一種)が約4割(134人中51人、38.1%)を占め、最多となっており、次いで、原付二種(32人、23.9%)が多くなっています。



#### (5) 20歳代と40歳代の死傷者が多い

二輪車乗車中の死傷者の年齢別では、20歳代と40歳代がいずれも134人中30人(22.4%)で最も多く、また、高齢者が15人(11.2%)と多くを占めています。

